



＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

令和2年4月6日(月)

練馬区立豊玉第二小学校
校長 永井 美奈子

豊二小だより

4月号

新年度のスタートにあたり

校長 永井 美奈子

3月の卒業式の頃から開き始めた校庭の桜が、ゆっくりと時間をかけながら咲き、始業式・入学式の時期に満開を迎えました。美しく咲き誇る姿は、学校を静かに見守り、私たちの心を励ましてくれるかのようにも見えます。満開の桜を見上げながら、どんなときにも前向きな気持ちで、みんなで力を合わせながら勇気をもって進んでいこうと思えることができました。

保護者の皆様、お子様の御入学・御進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本日、36名の新1年生を迎え、全校児童数263名で令和2年度がスタートいたしました。



今年度も豊玉第二小学校は、引き続き「一人一人が輝き、響き合う学校」を目指す学校像とします。

子供たちを取り巻く社会は、高度情報化やグローバル化などの急速な変化により、ますます予測が難しくなっています。将来どのように世の中が変わっても、子供たちには、どうすればよりよい人生を送れるのか自ら考え判断して行動する力を持ち、幸せで明るい未来を創ってほしいと願っています。小学校時代には、よりよく生きるための基礎や土台づくりをしっかりと行うことが大切であると考えます。その土台となるのは、子供一人一人の「自己肯定感」であり、「人とかかわる力」です。本校では、子供一人一人のよさを認め、可能性を信じて寄り添い、励まし、心のこもった丁寧な指導をしていきます。こうした指導を積み重ねながら子供たちに自信と自己肯定感を育み、一人一人のもてる力を最大限に伸ばし、輝かせていきたいと思えます。また、学校は子供たちが共に学び合い、互いに思いやり、助け合いながら成長するところです。豊かなかわり合いを通して互いに心を通わせ、響き合い、高め合う学校を創っていきます。

「一人一人が輝き、響き合う学校」は、保護者の皆様や地域の皆様と学校が響き合っていないと創りあげることができません。子供、保護者、地域、教職員の一人一人が輝き、「チーム豊二」として共に響き合いながら、調和のとれたすてきなハーモニーを奏でていきたいと思えます。皆様のますますの御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【4月7日(火)からの臨時休業に関して】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、練馬区の小・中学校では、4月7日(火)～5月6日(水)までの期間、再び臨時休業措置をとることとなりました。希望に胸を膨らませて小学校に入学してきた新1年生、そして、新年度には平常の学校生活に戻り、友達や先生と過ごす日々を心待ちにしていた2年生以上の子供たちの気持ちを考えると、本当に心が痛みます。年度当初に新しい担任や友達との出会いの時間を十分にもてず、学級づくりができないまま休校になってしまうことも、とても残念でなりません。保護者の皆様には、長期にわたる休校で再三御負担をおかけすることになり、誠に申し訳ございません。今後の予定は、当初立てた計画から大きく変更されます。随時お知らせいたしますので、学校からのお便りやメール、ホームページをこまめに御確認ください。御心配や御迷惑をおかけいたしますが、子供たちや御家族、教職員の生命に関わる重大な事態であるため、何とぞ御理解・御協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

臨時休業中に2年生以上の学年では、週に一日1時間程度、各学年の参集日を設けます。心と体の健康状態を確認後、家庭学習の状況を確認したり、提出物の回収、教科書や家庭学習課題等を配布したりします。毎朝の検温と健康観察を各御家庭にお願いしておりますが、お子様の体調がすぐれない場合は、絶対に無理をさせず休ませてください。その際、欠席しても欠席扱いになりませんが、学校へ御連絡ください。なお、1年生は、登下校の安全面から今回は見合わせることにし、保護者会等で必要な内容を御説明させていただきます。

最後に、お子様は感染拡大の様々な情報による不安や生活の変化で、ストレスを感じていることも十分考えられます。練馬区や学校では、相談窓口を開設し受け付けておりますので、御活用ください。